

# TBC-JSL Version 1.2.2.0 アップデート概要

2010年5月  
株式会社 ニコン・トリンプル

いつも弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

弊社ではこの度、Trimble® Business Center - Japan Survey Lite(以下 TBC-JSL)の最新バージョンである「Version 1.2.2.0」をリリースいたします。

本書では TBC-JSL Version 1.2.2.0 で改善・改良を行った機能のうち、主要な項目を抜粋してご紹介を行っています。別紙『アップデート一覧』には今回のアップデートにおける改良点すべてをまとめていますので、併せてご参照ください。

## ■ 機能改良: TOWISE 座標の取り込み ※ TOWISE Version 3.6.0.0 が必要

基線解析の出発点の座標を入力する際、すでに TOWISE に登録してある座標を呼び出して使用できるようになりました。既知点の座標を TOWISE へ事前に登録しておくことで、TBC-JSL での基線解析時にその座標を再度入力する必要がなくなりますので、入力の手間やミスを省くことができます。また、セミ・ダイナミック補正の適用される作業では、TOWISE で自動的に変換された今期座標を呼び出しますので、座標変換の手間も省略できることとなります。

なお、呼び出し可能な TOWISE 座標の種類は『マニュアル入力点』と『計画点』の2つとなります。

①「TOWISE 取込」をクリックすると  
取り込み可能な TOWISE 座標を一覧で表示

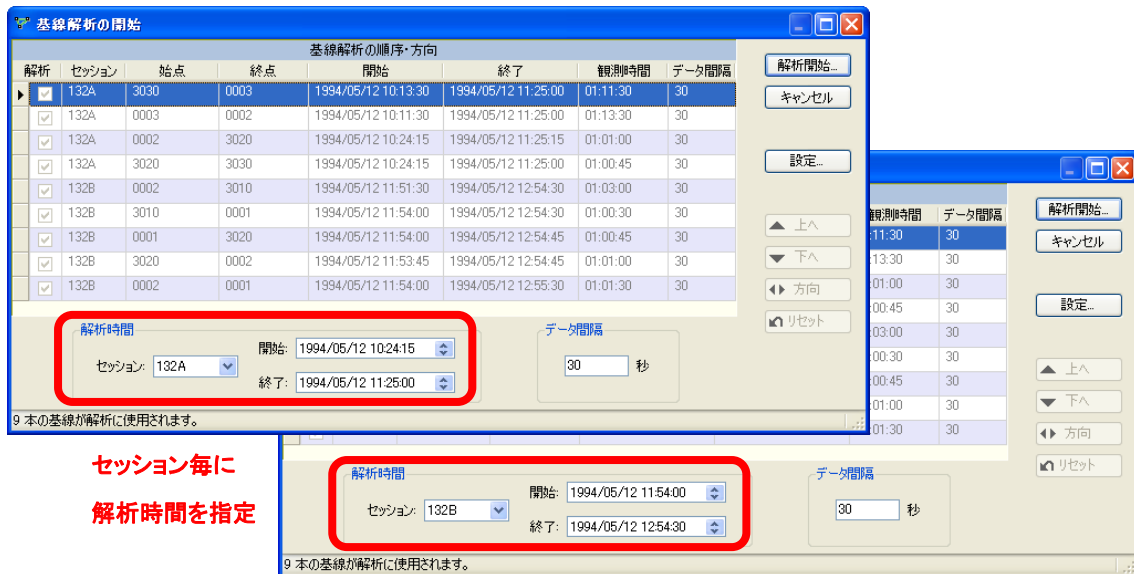
②「取込」をクリックすると  
緯度・経度・楕円体高へ反映

TOWISE座標						
点番号	点名称	緯度	経度	標高	ジオイド高	楕円体高
3010	既知点1	N35° 29'18.66200"	E139° 35'12.71300"	70.220	36.627	106.847
3020	既知点2	N35° 28'47.84400"	E139° 35'22.55300"	69.020	36.595	105.615
3030	既知点3	N35° 28'33.94700"	E139° 34'39.73500"	83.150	36.665	119.815

取込 キャンセル

## ■ 機能改良：セッション毎の解析時間の指定

TBC-JSL でセッションを作成し、そのセッションを対象に基線解析を実行する場合には、セッション毎に解析処理の開始・終了時間を指定できるようになりました。また、一度指定した解析時間は TBC-JSL に記憶されますので、セッションを再解析する際には前回指定した解析時間が初期値として表示されます。



## ■ 機能改良：棄却率の表示

基線解析の結果を一覧表示する際に、各基線の観測データの棄却率もあわせて表記するようにしました。  
(単位：パーセント)



## ■ ご注意（互換性について）

TBC-JSL Version 1.2.2.0 は TOWISE Version 3.6.0.0 と組み合わせでご使用ください(※)。それ以前のバージョンの TOWISE と組み合わせた場合、ここでご紹介した機能の一部はご利用いただけませんので、必ず TBC-JSL、TOWISE とともに上記バージョンへアップデートしていただきますよう、お願いいたします。  
(※ TOWISE Version 3.4.0.0 より下位のバージョンとは組み合わせることができません。)

また今回のアップデートに伴って、TBC-JSL のプロジェクトデータの構造を変更いたしました。下位バージョンで作成・保存したプロジェクトデータは、引き続き上位バージョンでも使用することができますが、上位バージョンで作成・保存したプロジェクトデータは、下位バージョンで使用することはできません。混乱を避けるためにも、作業環境のすべての TBC-JSL のバージョンを統一していただきますよう、お願いいたします。

以上